

※12号 わがまちしゅせんじ

平成29年10月19日
修善寺小学校区地域福祉
委員会 責任編集ハラ

S-MAP(エスマップ)はしゅせんじ、すけは、あゆませマップです。

S-MAP
神戸防災

八十八ヶ所巡拝を前にして

桂谷八十八ヶ所なんと今年は八十八回目。

昭和五年十一月七日、開眼供養、続いて
第一回の巡拝が行なわれた。ところかその月の

二十六日未明、北伊豆地震が発生、土石流が
神戸地区を襲い、二十二名の尊い命が奪われ

れた。二十五番の石碑も行方不明に。翌年
の巡拝に間に合うよう、替りの石碑を建立

した。そくなられた方々の慰霊の為、身替り
地藏さんも建立された。続いて御堂を建

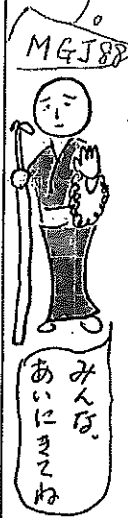
てられた。
その後、川の改修の際、元の石碑が発見され

二十五番は新旧二つ並んで建っている。

十一月二十六日の身替り地藏さんの供養

はずと続けられ、今年も十時から行な

われる。風化させてはならない悲劇であり
子子孫孫に語り継いでいかなければなら



S-MAP
誇り
修小

狩野川台風異聞

昭和三十三年九月二十六日、未曾有の

台風がこの地を襲った。後に狩野川台風
と名付けられた。そんな中、修善寺小学校は

無事だった。二十九日のことだった。と思う。
上空をヘリコプターが施回していた。先に

救難ヘリが来たのを目にしていたので
白線引き(運動会を使うアレ)で運動場

に大きく(修)と描いた。今なら(4)とする
ところ。降りて来たのは遠藤三郎

当時の建設大臣、現地視察した。
非常時である。一刻を争う時である。

か、ピカピカに磨かれた廊下を前にして
大臣は泥の半長靴を脱がれた。

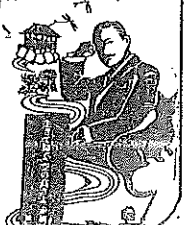
町長をよんでください。関係者か次々に駆けつけた。靴を脱ぐ

人はいなかった。みんなあめていたのだ。
あの時のピカピカの廊下は私の誇りです。



より聞きとり
鈴木よしえ

ごきげん



よふ
ほんのわずか
ではあります。か読後

の感想を寄せてくれ
る方々があります。

冥利につぎるとはこの
ことであります。

ふるさとを知り、誇り
をもち、大切にしながら

できるだけ楽しく暮
すこと、これが望みです。

時々唄います。
苦しいこともあふらう

悲しいこともあるだろう、
だけどボクらはくじけな

泣くのはイヤだ笑っちゃお
すすめゆひ、こりひょう

たん島です。ハラケイ

やさしいぬしやせんじ

by 池田民生委員

S-MAP いぬ 七月初旬のこと、ひとり暮しのお年寄りか玄関の
とびらに足をはさまれたまま倒れているのを若い女性が
発見、「こり大変」と近所も駆けつけた。そこへ仕事帰
りのヤギシタ三人衆が通りかかり、「まかせとけしと
ばかりに抱きかかえて救出。ペットボトルの水を与之、身内
や市の担当者に連絡、実に見事な対応をみせた。
救急車を見送り、お礼を言うと「おたかいさま
と事も無げ。家路はすっかり暗くなっていたが、
私の心は明るくやさしさに包まれて

S-MAP いぬ 観音さん、ていつてるけど修善寺の町制
施行の際、仲良くやっていけるよう集会所を作ったのさ。
月例で酒や弁当持って男も女も楽しくやってたんだか
丘球学さんが「それい芸もなかろう」と福井の方から如意輪
観音さんを貰って来て念仏が始まったわけ。いつのまにか
女性(ばあさんちと云った)ばかりになってもうた。マッカーサー
か忠魂碑をこめすってウワサで掛軸に名前を写しとった。
お念仏は平和を願うものぞあるんだよ。」



うなぎ捕りの思い出 六年二組 匿名希望

S-MAP 下校するやみみず集めにとりかかる。枯草を
ひっくり返すとウジャウジャいた。枯草と混ぜて「ウケ」
に入れ、川に伏せる。この伏せ方、場所かポイントだ。
「細工は流々、仕上げを御覧じろ」。翌朝早く、ウケを
引き上げると白い腹か目に飛びこんで来た。「やったあ、
ウケ」は三田鮎店や加殿のおそうさんの近くで
売っていた。五、六百円だった。ただ、ウナギを喰っ
た記憶かほとんどない。大人の食べ物だったのだ。

S-MAP 修善寺温泉で戦争のある時期、
多くの学童が親元を離れ、共同生活を送っていた。
その記憶をとどめんと慶応幼稚舎(小学校)の疎開
の碑が建立された。これは慶応だけにとどまらず、
戦争の悲惨を語りつぐ記憶装置という位置
づけで考えたい。お寺を訪ねた際には宝物館脇に
立つ石碑をご覧あれ。子どもや孫にそんなことが
あったと伝えよう。芸術的に仕上っている。

お寺の境内に学童疎開の碑

お念仏は平和を願うものぞあるんだよ。」